さくら保険サービス通信

〒830-0037　福岡県久留米市諏訪野町2570-9高村ビル2F
TEL 0942-37-7351　FAX 0942-37-7352
さくら保険サービスのURL　http://www.sakurahoken.net

14年 3月号

30秒でチョットした情報通になれる

■３（みつ）月８（ばち）の日

3月8日は「みつばちの日」。みつばちの家族構成を知っていますか？

みつばちはしっかりものの女性が大黒柱の家長です。一匹の「女王バチ」が君臨しています。「女王バチ」のもとに雌の「ハタラキバチ」と雄の「オスバチ」います。一つの巣に3種のハチが集団で住んでいます。

家族の数は「ハタラキバチ」は数千匹～数万匹。「オスバチ」は数百匹～数千匹。

「ハタラキバチ」と「オスバチ」を産むのは誰でしょうか？　それは「女王バチ」なのです。「ハタラキバチ」と「オスバチ」は「女王バチ」の子供なのです。

では、「女王バチ」は誰が産むのでしょうか？子供を産めるのは「女王バチ」だけです。

だから一匹の「女王バチ」は発卵期になると「オスバチ」と交尾します。同じ巣の「オスバチ」と交尾するのは避けます。近親交配避けるためです。生物は自然にそうなっているのです。

■ロイヤルゼリーは女王バチの特別食

新しい「女王バチ」は雌の「ハタラキバチ」の中から選ばれます。巣の中に「女王バチ」を育てるための部屋がつくられます。これを王台といいます。この王台に住んだ「ハタラキバチ」には「女王バチ」になるための特別食「ローヤルゼリー」が与えられます。

「女王バチ」になる候補は一匹ではありません。一つの巣に10個ぐらいの王台が作られます。そのなかの一匹だけが女王の座を賭けて決闘が始まります。生き残った一匹だけが「女王バチ」となるのです。

因みに、雌の「ハタラキバチ」は、はちみつをつくります。雄の「オスバチ」は何もしないで「ハタラキバチ」が運んでくる餌を食べているだけで、交尾すると死にます。「女王バチ」は子供を産み、「ハタラキバチ」が餌を運び、「オスバチ」は精子を提供します。これがハチの家族の役割です。

引用・参考資料：ウィキペディア 女王バチ、ハチミツ等より

さくら保険サービス通信

14年 3月号

〒830-0037　福岡県久留米市諏訪野町2570-9高村ビル2F
TEL 0942-37-7351　FAX 0942-37-7352
さくら保険サービスのURL　http://www.sakurahoken.net

30秒でチョットした情報通になれる

■すぐエネルギー源になる はちみつドリンク

マラソンランナー、サッカー選手が運動中に飲んでいる飲料があります。

あれは何でしょうか？

もちろんスポーツ・ドリンク、あるいは水です。実は、それ以外にはちみつドリンクを飲んでいるのです。

なぜ選手は、はちみつドリンクを運動中に飲むのでしょうか？

それは吸収の早いエネルギー源だからです。激しい運動をする場合のエネルギー源はブドウ糖です。ブドウ糖はグリコーゲンという形で筋肉や肝臓に蓄えられています。激しい運動をすると筋肉や肝臓に蓄えられていたブドウ糖はたちまち使い果たされます。

それで、はちみつドリンクを運動中に飲むのです。はちみつの80パーセントは糖分です。しかもほとんどがブドウ糖です。ブドウ糖は胃腸への負担をかけずに短時間で吸収できます。

■疲労回復に効果がある

ハチミツドリンクはレモン果汁にハチミツを入れてお湯で注いだらすぐにできます。また温かいはちみつドリンクを飲めばリラックスします。一日の疲れを取るために寝る前にハチミツドリンクを飲めば朝の目覚めがさえます。

●ハチミツドリンクの作り方

- **レモン…1/2個**
- **お水…150ml**
- **はちみつ…大さじ1杯**

①：レモンを半分にカットして絞りレモン汁を用意します。

②：水を電子レンジで60秒から70秒くらい温めて飲用カップに注ぎます。

③：飲用カップのお湯に大さじ１杯のはちみつと①のレモンの絞り汁を加えてかき混ぜて完成です。

引用・参考資料：ハチミツ健康効果、効能より

さくら保険サービス通信

14年 3月号

〒830-0037　福岡県久留米市諏訪野町2570-9高村ビル2F

TEL 0942-37-7351　FAX 0942-37-7352

さくら保険サービスのURL　http://www.sakurahoken.net

30秒でチョットした情報通になれる

■身近なモノを防災グッズにする

新聞紙、ポリ袋、ビニール袋。

これが防災グッズに化けます。

ほんとうですか？

●新聞紙

・暖房着になります。食器になります。

・新聞を束ねて、骨折した箇所に紐でしばれば添え木の代わりになります。

・家具の固定器具になります。

家具を壁側に少し傾斜させます。折り畳んで厚みを作った新聞紙を家具の下にしきます。

家具の上はダンボールや読まない厚手の本をポール式固定器具の代わりにして、家具と天井との間に挟み込みます。それでも隙間があったら新聞紙を挟みます。

見た目はかっこ悪いですが、節約型、家具転倒防止固定具の完成です。

●ポリ袋

・ポリ袋はポンチョになります。

雨が降ったときなどに、ポリ袋の頭を切ります。そこから頭を出せば立派な雨具になります。

・重ねて着れば暖房着になります。・

・給水車の水をもらうときにバケツが汚れていることがあります。バケツにポリ袋を掛ければ水が汚れません。

・応急手当の止血をするときに使えます。手術のゴム手袋のようにポリ袋を手にかぶせれば血に触れなくてすみます。

・新聞紙をコップにして、ポリ袋をかぶせます。あるいは紙食器にかぶせます。

●ビニール袋、ペットボトル

・ビニール袋やペットボトルを照明器具に早変わりさせます。

懐中電灯にビニール袋をかぶせる、あるいはペットボトルを載せると光が反射して全体に明るくなります。

以上、日常使っているモノも工夫次第で防災グッズになる例です。

引用・参考資料：内閣府防災情報

さくら保険サービス通信

14年 3月号

〒830-0037　福岡県久留米市諏訪野町2570-9高村ビル2F

TEL 0942-37-7351　FAX 0942-37-7352

さくら保険サービスのURL　http://www.sakurahoken.net

30秒でチョットした情報通になれる

3月のトピックス

認知症の徘徊事故と賠償

新聞で調べた認知症患者の徘徊事故

●鉄道事故

2007年91歳の男性が線路内に入って列車に轢かれて亡くなりました。男性は認知症で妻と長男の妻が目を離したすきに家を出て線路内に入ってしまいました。鉄道会社はダイヤが乱れことによる損害の賠償を遺族に請求しました。裁判は約720万円を支払う判決でした。

●自動車事故

2011年11月、認知症の症状があった男性が軽トラックを運転していました。県道で路側帯に突っ込みました。その際に児童3人をはねました。裁判では責任能力ありと認定されました。懲役1年2ヵ月の実刑判決でした。

●その他の事故

50代で認知症を発症した男性が工事現場に入って、建設車両を運転してしまいました。建設中のブロック塀を壊してしまいました。建設会社から80万円近くの損害賠償額を請求されました。その他に、農家の畑から大根を掘ってしまった。スーパーで商品を盗んでしまったなどなど。

鉄道事故の裁判争点

事故を起こした家族の注意義務……家族が認知症患者の行動に対し注意していたかが問われます。それを怠ったと認定されると注意義務違反で損害賠償責任が生じます。

鉄道会社の注意義務……線路上に人が入った場合に事故が起こる可能性があります。それに対し対策を立てていたかが注意義務違反になります。

裁判結果……家族は注意義務を怠ったと認定されがちです。一方、鉄道会社は線路内に人が入らないようにすることはできないと認定されるようです。その結果、家族に注意義務違反が生じて損害賠償責任が生じると判決される傾向のようです。

（新聞で調べた認知症患者の徘徊事故と鉄道事故の裁判争点の参考資料：毎日新聞、朝日新聞、週刊朝日の記事）